

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 246

2015年

9～10月号

行 事 案 内

9月手賀沼探鳥会

期 日 9月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
(サマータイムで今月まで1時間早く
なっていますのでご注意ください)
案 内 残暑から秋の風を感じるころで、移
動途中の鳥の姿が観察できるかも
知れません。注意深く観察しましょ
う。またヨシゴイの成鳥、幼鳥、オ
オヨシキリ、セッカなど期待しまし
ょう。まだまだ暑い日がありますの
で暑さ対策をお願いします。
解 散 11:00
担 当 野口紀子、小林寿美子

10月手賀沼探鳥会

期 日 10月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 夏鳥が去り手賀沼にはカモ類がや
ってくる季節になりました。
ミサゴやハヤブサも見られるかも
しれません。
秋空の手賀沼沿いをのんびり歩き
ながらじっくり観察しましょう。
解 散 正午
担 当 小澤淳宏

9月、10月ピオトープ調査

期 日 9月3日(木) 雨天延期
10月1日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ
9月は午前8時30分
10月は午前9時30分
案 内 9月はまだ南に帰らない夏鳥と留
鳥のみになりますが、10月は留鳥
の他に冬鳥も見られるようになり
数も多くなります。
昨年9月は8種、10月は21種の
野鳥を観察しました。9-10月はシ
モツケ、ムクゲ、アベリア等の木の
花、クリ、ユズリハ、キツタ、カラ
タチ、クスノキ等木の実が、キツネ
ノマゴ、ニシキソウ、ニラ、ヌスビ
トハギ、スズメウリ、アキノノゲシ、
セイタカアワダチソウ等多くの野
草の花、ヨシ、ヒメガマ、セイバン
モロコシ、エノコログサ、ススキ
等の花穂が見られるようになり、蝶
蛾、蜻蛉、蝉、バッタ、甲虫、蜂等
の昆虫、蛙、イタチも見られます。
稲刈り前後の秋の田圃の雰囲気
にひたりながら手賀沼ピオトープ周
辺を探鳥してみましょ。参加希望の方は下記までご連絡下
さい。
解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

9月、10月手賀沼定点カウント

期 日 9月5日(土) 雨天延期
10月10日(土) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午
案 内 手賀沼の定点カウント調査については、3月までは手賀沼定例探鳥会に併せて実施していましたが、4月以降はカウント班の新体制への移行を機に、定例探鳥会とは別に原則毎月第一土曜日に実施しています。この調査は1977年3月から40年近くにわたり継続的に実施しているもので、その記録は手賀沼の野鳥動態を知る貴重なデータとなっており、当会の重要な活動の一つでもあります。

担 当 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

白樺峠・乗鞍探鳥会(再掲)

期 日 9月23日(水・祝)、24日(木)
集 合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前6時30分
案 内 タカの渡りの観察地として有名な信州白樺峠と野鳥・高山植物・温泉を楽しめる乗鞍を訪れます。標高1600mの白樺峠ではサシバ、ハチクマなどの壮大な渡りとタカ柱が見られ、180度見渡せる自然の山間の景色は最高です。標高1500mの乗鞍高原では夜は天然温泉で身体を癒し、朝は夏鳥を探鳥します。標高2700mの乗鞍畳平までバスで行き、ホシガラス、イワヒバリ、カヤクグリ、運が良ければライチョウに期待です。晴れれば乗鞍の山々の景色が堪能できます。

交 通 小型バス

定 員 20名(先着順です)
宿 舎 滝見館
長野県南安曇郡安曇村4306
Tel : 0263-93-2412
費 用 24,000円程度
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲物
申 込 野口隆也まで(旅行傷害保険に入るため、生年月日をご連絡ください)
Tel : 04-7163-7898
担 当 野口隆也、松本勝英

三 番 瀬 探 鳥 会

期 日 10月4日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口内
午前10時25分
*満潮9時半、干潮14時40分の為、集合時間を遅らせました。
交 通 我孫子駅(快速)10:35発 柏駅
10:39着
(東武アーバンパークラインに乗り換え)東武柏10:54発 東武船橋
11:23着 徒歩3~4分
京成船橋(京成バス)11:40発船橋海浜公園行きに乗車
案 内 秋のシギチの渡りも終盤、冬羽に移行した姿が増える中、ひょっとして珍し系の鳥が見られるかも知れません。因みに昨年は、ハシブトアジサシ、ウズラシギ、ノビタキや谷津干潟ではアカエリヒレアシシギなどが見られました。ミヤコドリなどもかなりの数を観察出来ます。
持 物 観察用具(ゴム長があると便利)、弁当、飲み物、雨具
申 込 金子雅幸まで
Tel : 04-7133-6944
担 当 船津登、金子雅幸

第14回 野鳥サロン

第14回野鳥サロンを、下記日程にて開催致します。

鳥の名前は、その姿や形だけでなく、鳴き声、羽色、模様、生態、生息地、食性などいろいろな特徴から名付けられています。先人たちは、自然の美しさや季節の移り変わりを鳥の名前であらわしたりしていました。方言には、その地方の昔話や伝説などにもとづいている名前があります。

前号の手賀沼探鳥会(4・5月)で認められた鳥を中心に約20種の「由来」を調べてみます。

多くの皆様の参加を担当一同お待ちしております。

日時 9月20日(日) 9:00~12:00
場所 我孫子北近隣センター 並木本館
第3会議室

Tel: 04-7157-4517

(我孫子駅北口より徒歩7分)

テーマ 1.鳥の名前の由来
2.リクエスト応答&異説珍説

会費 一人300円(茶菓代ほか)

担当 類地佑子、六角昭男、松本勝英

締切日 9月16日(水)

申込 松本勝英まで

Tel: 04-7187-1704

ジャパンバードフェスティバル (JBF2015)全体

期日 10月31日(土) 9:00~16:30

11月1日(日) 9:00~15:30

会場 手賀沼親水広場(水の館周辺)、鳥博広場(鳥の博物館駐車場)、アピスタ周辺、その他

案内 メイン会場は手賀沼親水広場です。光学機器関係は親水広場、学生・NPO団体は鳥博広場、講演・作品展は水の館・アピスタなど。当会の出展は、鳥博広場のテント(予定)、カッパ噴水前展望デッキの湖畔バードウォッチングのテント、手賀沼

漁協棧橋付近の船上バードウォッチング受付テントの3か所になります。

広報 JBF全体のイベントについては、広報あびこの10月、11月号をご覧ください。

<当会の出展内容等>

「身近な鳥たち、珍しい鳥たち」(鳥博広場テント)

手賀沼周辺で身近に見られる野鳥、手賀沼周辺及び当会の遠出探鳥会で観察された珍しい野鳥、当会の活動状況を写真パネル及びプロジェクターによる映像と音声で解説し、紹介します。

「野鳥の塗り絵とパタパタ工作」(鳥博広場テント)

野鳥の塗り絵とパタパタ工作を親子で楽しんでもらいます。

「庭に鳥を呼ぶ」(鳥博広場テント)

野鳥の好きな草木の実や餌を実物で紹介します。

「湖畔バードウォッチング」(カッパ噴水前展望デッキとテント)

湖畔の展望デッキから望遠鏡で手賀沼の鳥を観察してもらいます。

「船上バードウォッチング」(手賀沼漁協棧橋付近の受付テント)

遊覧船で手賀沼を一周し、船上から手賀沼の鳥と風景を楽しんでももらいます。その他

JBF2015は15周年記念として国際交流をテーマの一つに掲げており、当会と親交のある台湾をはじめ海外から数か国のブース展示も行われます。当会としても国際交流に協力し、台湾やモンゴル等をサポートする予定です。

<前日会場設営と当日参加のお願い>

当会出展の設営は、前日10月30日(金)の13時30分から鳥博広場の当会テントにご参集下さい。その後、各担当の出展場所へ移動し、設営作業を行います。

10月31日(土) 9時30分~16時

直接、各出展場所へ

11月1日(日) 9時30分~15時

直接、各出展場所へ

* 会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお待ちしています。

伊豆沼・蕪栗沼探鳥会

期 日 11月21日(土)～22日(日)
集 合 8時頃我孫子駅 上野発8時54分、
やまびこ43号乗車を予定)
交 通 新幹線及びレンタカー
宿 舎 伊豆沼ウェットランド交流館
TEL: 0228-33-2831
参加費 35,000円程度(JR新幹線、レンタ
カー等の交通費、宿泊費等)
定 員 16名(レンタカー4台)
案 内 マガン、ヒシクイなどガンカモ類を
求めてラムサール条約登録湿地で
ある宮城県の伊豆沼・蕪栗沼に出向
きます。
夕日をバックにした数万羽のマガ
ンの埧入り、ひらひらと舞い降りる
落雁、早朝の一斉に飛び立つ様を目
前にすると、誰も自然の雄大さに
感動を覚えると思います。鳥見をは
じめたら一度は体験したい探鳥で
はないでしょうか。マガンに混じっ
たシジュウカラガンやカリガネを
探してみるもの楽しみです。また、
湿地周辺では猛禽類や冬の小鳥た
ちもおおいに期待できます。
(2012年の同探鳥会で観察された
鳥:シジュウカラガン、マガン、オ
オヒシクイ、オオハクチョウ、各種
カモ類、猛禽類など38種)
持 物 観察用具、雨具、防寒具(*)、寝間
着、洗面用具、常備薬等
*夕暮れ時、日の出前に戸外で観察
するため、相当冷えますので防寒対
策を十分にして下さい。
申 込 桑森亮まで
Tel/Fax: 04-7182-3149
担 当 小澤、桑森

台湾探鳥会(5泊6日)

台湾の林さん(台湾野鳥保育協会前会長)
との交流を通じて過去4回有志で台湾探鳥
会を行いました。今回は公式行事として冬の
台湾の珍しい鳥たちを林さんの案内で楽し
むとともに、台湾の人達との交流を図りたい
と思います。この機会にぜひご参加ください。
期 日 2016年1月11日(月)～16日(土)
探鳥地 台湾東部・中部中心
ウーライ イーラン タロコ アオワンダ
(烏来、宜蘭、太魯閣、合歡山、奥萬大、
プーリー
埔里、台北の予定)
費 用 16万円前後(為替の状況で変動)
定 員 20名(先着順)
募 集 9月1日～9月30日(飛行機・宿
泊手配のため)
条 件 ・当会会員であること
・パスポート有効期限が半年以上
申 込 野口隆也まで
Tel/Fax: 04-7163-7898
お願い 申込時に下記内容をご連絡下さい
旅券記載のローマ字氏名
生年月日(西暦)
旅券番号・発行日・有効期限
電話番号(固定電話と携帯電話)
メールアドレス
担 当 間野、野口(隆)
詳細は後日、参加申込みの方にご連絡致し
ます。

9月役員会案内

日 時 9月13日(日) 12:30～15:30
場 所 水の館 3階研修室
議 題 JBF2015 出展について
会報247号掲載予定記事につ
いて
第15回野鳥サロンについて
報告事項
・対外対応状況他
・あびこ市民活動メッセの出展
準備状況について
その他(議題のある場合は桑森
までご連絡ください。)

行事報告

6月手賀沼探鳥会

日時 2015.6.14 9:00~11:50

曇り 無風 24

梅雨入り後の探鳥会で、開始前は少し雨が降ったものの9時以降は曇りで、気温が上がらず夏の割には涼しい一日でした。この日は、6月は水鳥の子育て中で観察できる鳥が少ない時期なので、いつものコースを一部スキップして手賀川を回りました。手賀沼ではコブハクチョウの親子と雛が見られた程度でしたが、手賀川では何とかお目当てのヨシゴイが飛んで葦原に入ってくれました。オオバンやカイツブリの雛に期待しましたが、残念ながら姿が見えませんでした。また、ハヤブサはいつもの上沼の鉄塔にはいませんでしたが、手賀川浅間橋の鉄塔では姿を見せてくれました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計30種 番外：コジュケイ、アヒル、カワラバト

<参加者> 榎本右、河端宇一郎、西城猛、相良直己、野口隆也、大久保陸夫、村瀬和則、千葉洋、間野吉幸、船津登、石渡成紀、染谷迪夫、田丸喜昭、北崎正典、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、石井俊子、常盤孝義、野口紀子、古出洋子、丸嶋紀夫(担当) 桑森亮 計24名

6月手賀沼定点カウント

日時 2015.6.6 9:00~12:00

曇り時々晴れ 微風 19

前日の大雨で益々水位は上がり、気温の下がった手賀沼は、水面に鳥影はほとんど見られない寂しい状況でした。

下表の記録には、ヒナのコブハクチョウ上沼19羽、下沼8羽およびカイツブリ下沼2羽を含んでいます。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	30	12	42
カルガモ	36	2	38
カイツブリ	3	4	7
カワウ	23	23	46
アオサギ	5	6	11
ダイサギ	0	2	2
コサギ	0	1	1
オオバン	1	4	5
コトドリ	1	0	1
合計	99	54	153

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸、古出洋子 計4名

6月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2015.6.4 9:30~11:10

晴れ 強風 24~27

強風のため観察出来た鳥の数が少ない。沼は先日の雨で濁り、強風のため白波が立ち杭にとまるカワウが見られる程度。ピオトープの生息ゾーンの池の周りでオオヨシキリが多く観察出来た。水田では餌獲りのアオサギ、カルガモ、ハシボソガラスが見られ、斜面林からはウグイスの囀りが聞こえる。上空ではノスリ、高く飛ぶトビの姿が見られ、一時薄い虹も見られた。当日は強風で湿気が少なかったためあまり暑さを感じなかった。また遠くに白き富士山が見られた。観察した野鳥13種39羽、他に木の花、実6種、野草の花実23種、蛙、蛇4種、蝶、蛾6種、蜻蛉4種、甲虫2種、蜂2種、バッタ2種、カメムシ2種、蜘蛛1種を観察しました。

<認めた鳥> カルガモ、カイツブリ、アオサギ、ノスリ、モズ、ハシボソガラス、ツバメ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計 12 種
 番外 カワラバト 合計 13 種 39 羽
 <調査者> 鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸、船津登、池田日出男 計 5 名

7 月手賀沼探鳥会

日 時 2015.7.12 8:00 ~ 11:00
 快晴 無風 29

サマータイム制適用の今月は、徒歩ルート
 をヒドリ橋 第二機場と変更して実施した。
 ヒドリ橋では、座禅中? のアオサギを見ることが
 できた人もいた。

鳥影の少ないなか、鉄塔のハヤブサは健在
 だった。車両提供組は、間近でじっくりカワ
 セミを見ることができたらしい。無風だった
 ので、お立ち台ではオオヨシキリの赤い口の中
 をしっかり見ることができた(暑さのせい
 か、口を開けっ放しだった)。

最後は浅間橋まで足を延ばし、ヨシゴイが
 飛ぶのと止まった姿を確認して帰路についた。

<認めた鳥> コブハクチョウ、カルガモ、カ
 イツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ア
 オサギ、ダイサギ、チュウサギ、オオバン、
 トビ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、ハシボ
 ソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、
 ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、オオヨ
 シキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセ
 ケレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計 28 種
 番外 カワラバト

<参加者> 船津登、西嶋昭生、間野吉幸、常
 盤孝義、相良直己、田丸喜昭、小玉文夫、金
 子幸子、佐藤弘美、野口隆也、鈴木静治、古
 出洋子、村瀬和則、桑森亮、野倉元雄、宮下
 三禮、石井俊子、野口紀子、佐藤さえ子、玉
 井修一郎、渡邊俊文、千葉洋(担当)松田幸
 保 計 23 名

7 月手賀沼定点カウント

日 時 2015.7.4 9:00 ~ 11:40
 曇り時々薄日 無風 25

朝方までの雨も有り、沼は増水でヨシの根
 元が見えない状況。その為もあってか、水面
 には全くと言って良いくらい鳥影が無かつ
 た。猛禽類が全く飛ばなかったのも又珍しい
 一日だった。コブハクチョウの内、ヒナは上
 沼 6 羽、下沼 12 羽でした。北千葉導水から
 の流入は、この処の雨続きで前月の半分でし
 た。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	16	18	34
カルガモ	5	1	6
カイツブリ	3	7	10
カワウ	24	38	62
アオサギ	6	4	10
ダイサギ	0	1	1
チュウサギ	0	1	1
バン	1	0	1
オオバン	0	3	3
合計	55	73	128

<調査者> 田中功、桑森亮、船津登、金子雅
 幸 計 4 名

7 月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2015.7.2 8:30 ~ 10:00
 曇り ~ 雨 無風 24 ~ 26

濃霧、小雨。無風であるが、沼、池に水鳥
 見えず。ピオトープはヨシ、ヒメガマ等の抽
 水植物、クズ、サオトメカズラ等の蔓性植物
 に覆われる。ヨシの先でオオヨシキリ、大木
 の頂きでホオジロが囀り、沼岸の桜、柳でシ
 ジュウカラの親子、コゲラが動き回り、草む
 らをカルガモの一家が歩く。田では畦を歩く
 キジ、餌を食べるハシボソガラスの親子、杭
 にとまるトビが見られ、斜面林と田の間を行
 き来するムクドリの子が群れが見られた。ツバメ
 は雨模様のため低空を飛び、スズメも飛ぶ。
 観察した野鳥 14 種 89 羽。他に木の花 6 種、
 野草の花 15 種、小動物 1 種、蛙 3 種、蝶 5
 種、蛾 1 種、蜻蛉 1 種、甲虫 2 種、カメム
 シ 1 種、蜂 1 種、蠅 1 種、バッタ 3 種、蜘蛛
 6 種も観察出来ました。

<認めた鳥>キジ、カルガモ、カワウ、アオサギ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ホオジロ 計14種89羽。

<調査者>鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、蒲田知子、船津登 計5名

戸 隠 探 鳥 会

6月7日、8日

ノジコの囀りは「信州そば、とろろ入り」??

青木典子

両日共に天気晴朗、風穏やかで恵まれた探鳥日和でした。一日目、二日目ともに新緑の香り豊かな戸隠森林植物園にて探鳥。賑やかな春蝉とカッコウの声をバックにして陽光に黄金色に輝くキビタキ、彩色美しいアカゲラ、ノジコ(会長によると「信州そば、とろろ入り」と鳴いているという澄んだきれいな声)、白いアイリングが可愛いコサメビタキ等々。又、気品溢れるヤマシャクヤクや姿形の楽しいクルマバツクバネソウなどの野草の数々に出会えました。記憶力、その他能力の減退者としては”等々、数々”で失礼いたします。初級者の私は探鳥会に参加してはいつも不届きなことを考えてしまいます。私は本当に探鳥が好きなのだろうか? というのも参加会員の方々の探鳥に対するバイタリティー溢れる熱心さにいつも圧倒されるからです。でもまあ、こんな出来損ないの初級者でも寛容に受け入れてくれる我孫子野鳥を守る会の皆様に感謝しつつ、ああ、戸隠探鳥会は楽しかったなあと思ひ返しています。

クロツグミの鳴き声姿発見感激

中根文世

長年、我孫子野鳥を守る会に入会して初めの一泊の探鳥会、迷いながら参加することに。集合場所我孫子駅北口 8時早めにバスに乗車、28人乗りで22人ととてもゆったりしていた。高速道路は渋滞もなく宿「めるへん」に到着。少し休みバスで戸隠森林植物園に、戸隠神社奥社参道に途中クロツグミの鳴き声姿発見感激、観光客も喜んでいた。

すれ違う人は外国人が多かった。6月8日朝5時、宿出発、バスで森林植物園に。ガイドのお姉さんがいた。色々な鳥が子育てで忙しそうでした。昼はJRのコマーシャル長野編で出た蕎麦屋「そばの実」にて。1時頃戸隠出発。渋滞もなく無事我孫子に到着、楽しい探鳥会でした。幹事さん、皆さん有難うございました。

万緑に溶け込み歩む鳥見かな・・・

鈴木幸子

6月7日、天気は快晴で期待に胸が膨らみません。関越道から上信越道とバスは順調に進み、やがて戸隠の森林の中を走ります。山全体が木々の緑に包まれ、私は山頭火の俳句が浮かびました。

分け入っても分け入っても青い山

山頭火

目的地の「めるへん」に着き、休憩の後、すぐに戸隠森林植物園に向かう。私は「アカシヨウビンの声だけでも聞こえたら良いな」と思いつつ、耳と目に全神経を集中させる。ここで駄句を披露、雰囲気伝わればと思います。

万緑に溶け込み歩む鳥見かな

囀りに二十二人の足が止む 幸子

翌朝 5時に集合し、再度森林植物園に向かう。囀りのシャワーを浴びると、眠気も消えてしまうから不思議です。今日はガイドさんが付いてくれましたが、今朝も何人かは別ルートを辿っていた。私も、自分の目と耳で探鳥の醍醐味を楽しみたいと思いました。帰路、車中にて鳥合わせ。なんと44種も勢揃い。私はノジコ、クロツグミ、キビタキ等を見、巣穴に出入りするアカゲラ、ニューナイスズメを見て、コルリの見事な囀りを聞き、十分満足した探鳥会でした。幹事さんと同行のメンバーに感謝申し上げます。

【幹事報告】

2008年以来7年ぶりの戸隠探鳥会で前回の参加者は22名中5名のみ。最近の戸隠の鳥の様子が判らないため下見を事前の6/1(月)~6/2(火)に田中功さんの協力を得、鈴木静治の2名で行う事にしました。下見では戸隠牧場と戸隠森林植物園を見て回りました。鏡池は水鳥がほとんどいないようなの

で止めました。戸隠牧場では午後に行ったせいもあり鳥は少なく、カッコウ、キセキレイが見られた位、花の間を優雅に飛ぶウスバシロチョウを見た位であり多種の鳥が期待できないと思い、6/7-6/8の探鳥会では森林植物園内と隣接する戸隠奥社参道でじっくり探鳥することにしました。なお森林植物園の下見で聞こえたコマドリの囀りは今回の探鳥会では聞かれませんでした。

6/7(日)8時我孫子駅北口のふれあい広場に集合し出発。三芳PA、上里SAで休憩し、東部湯の丸SAで昼食、信濃町ICの道の駅で休憩後13:45頃戸隠の宿に到着。今回は長距離のため中型バスにしたので、広い道から宿の狭い道に入らず、皆数分歩く。宿で一休みし14:30バスに乗り戸隠森林植物園に向かう。森林植物園の八十二森のまなびやに寄り資料、展示を見た後、園内の整備された木道の小径、戸隠神社奥社参道で探鳥をする。カッコウ、ツツドリ、ウグイス、春蝉等の鳴く中、アカゲラ、キビタキ、コサメビタキ、ゴジュウカラ、ニュウナイスズメ、クロツグミ等探鳥することが出来、17:40頃バスに乗り18:00宿に帰りました。夕食後懇親会、22:00頃には就寝。

6/9(月)5:00宿を出、バスで森林植物園に向かう。今日は鳥、花、登山等の女性ガイド酒井さんについてもらい昨日会えなかった青い小鳥コルリを探しました。囀りが聞こえる場所に来て皆必死に探すが、なかなか姿が見えない。数か所探すうちに高い木の枝先で囀るコルリを見ることが出来ました。さらに朝食後9-11:00森林植物園内を探鳥する。園内では、水芭蕉はほぼ咲き終わり、リュウキンカ、ニリンソウはまだ咲いていました。珍しい花ではトガクシショウマ、ヤマシャクヤク、ラショウモンカズラ、ギョウジャニンニク等、山の花見ることが出来た。コサメビタキ、アカゲラ、ニュウナイスズメの巣を見ることが出来、キビタキ、アオジ、ノジコの囀りを満喫することが出来ました。

11:30頃、信州そばを食べ、12:30に戸隠を出発し、信濃町ICの道の駅、横川SA、三芳PAで休憩し17:00過ぎには無事、我孫子着。今回は日～月の日程で、翌日の探鳥は早めに切り上げたため渋滞に巻き込まれずに済みました。また中型バス28席のうち22

席を使いましたので、余裕がありました。このバスの色が赤で目立ち、ナンバーも8000番と覚えやすいのも良かったと思います。

<参加者> 小山雄司、間野吉幸、大久保陸夫、小林秀美、村井みとい、野口隆也、野口洋子、仲澤成二、金子雅幸、古賀嗣朗、鈴木裕爾、鈴木幸子、中西榮子、小澤淳宏、船津登、青木典子、中根文世、弘實和昭、弘實さと子(幹事) 金子幸子、古出洋子、鈴木静治 計22名

<認めた鳥> カルガモ、カイツブリ、キジバト、アオバト、アオサギ、ホトトギス、ツツドリ、カッコウ、アマツバメ、トビ、ノスリ、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、サンショウクイ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ウグイス、エナガ、メボソムシクイ、センダイムシクイ、ゴジュウカラ、キバシリ、ミソサザイ、クロツグミ、アカハラ、コルリ、コサメビタキ、キビタキ、ニュウナイスズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ノジコ、アオジ 計44種

笹川・印旛沼探鳥会

6月28日

オオヨシキリの子育てに感動

大隅政孝

6月28日にヨシゴイ、サンカノゴイ、コジュリン、オオセッカ、セッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ狙いの笹川・印旛沼探鳥会に参加しました。

昨年我孫子野鳥を守る会に入会させていただき、参加予定のイベントは結構雨にたたられ、今回も前日は雨の予想、半分あきらめかけていたのですが、当日はびっくりするほどの快晴で、期待感を持って集合場所に向かうと、既に全員の方が集まっておられ、サンカノゴイを見るために9:30までに印旛沼に行こうと即出発しました。今日の皆さんも期待感高そうだと感じつつ、道中あまり時間を感じないままあっという間に印旛沼に到着しました。印旛沼の葦原ではヨシゴイとオオヨシキリが頻繁に飛び回っていました。よくよく観察するとすぐ目の前でオオヨシキリ

の親鳥が頻繁に幼鳥へ餌を運んでいました。幼鳥は親鳥が来るまでひっそりと葦の中に身を潜めています。餌をもった親鳥が近くと姿を現し親鳥から餌をもらっています。大きく口を開けた幼鳥のくちばしの中に親鳥が自分の頭まで突っ込むようにして餌を与えている姿は、とても感動的でした。カメラに撮ろうと頑張ったのですがまだまだ未熟でいい写真が撮れず残念。狙いのサンカノゴイは一所懸命幹事さんが探してくれたのですが、時間帯が少し悪く、結局姿を現してくれませんでした。(もっと朝早くか夕方がいいようです)残念ながら今日はこの辺であきらめ、次の目的地の笹川に向かうことにしました。笹川での狙いはコジュリン、オオセッカ、セッカは頻繁に草むらから飛び出してくるとのことでしたが、あいにく風が強く、飛び出してきたも風にあおられ、思うように飛べないらしく、鳴き声はしていましたが飛び出しも少なかったようです。葦の上まではオオセッカ、セッカは何羽か出てきてくれたので見ることはできましたが、私はコジュリンは見られませんでした。印旛沼ではチュウヒ、チョウゲンボウ、トビも飛んでいたようですが、鳴き声や飛んでいる姿で判断できるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。道中大久保さんの面白いお話が聞けた楽しい探鳥会でした。

【幹事報告】

天気が心配でしたが、午前は晴れ、午後は曇りでした。気温 26、参加者 15 名。9 時頃、最初の探鳥地の印旛沼に到着。オオヨシキリの鳴き声、飛ぶ姿がたくさん観察できました。ヨシゴイもあちこちで飛んでいます。サンカノゴイは、葦原の奥から時々声が聞こえますが、1 時間半ほどの観察の間、田圃でも姿を見ることが出来ませんでした。オオヨシキリの親が、幼鳥にエサを与える姿、また、チョウゲンボウが、低空で飛ぶ姿が見られたのは、幸いでした。

次の探鳥地、笹川に 12 時過ぎに到着。土手に上がると、風が強く、葦原の先に見える鹿島の煙突の煙が、真横にたなびいています。オオセッカが、鳴きながら飛び上がる姿は、よく見られましたが、強風のせいか、セッカの飛び上がる姿は、あまり見られませんでした。

た。黒い頭のコジュリン、眉斑の白が目立つコヨシキリも確認されました。葦原の上を低く飛ぶチュウヒが、この時期に見られ、ラッキーでした。

「水の郷さわら」で鳥合わせを行い、解散しました。

< 認めた鳥 > キジ、カルガモ、カワウ、サンカノゴイ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、コチドリ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、オオセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ、コジュリン 計 30 種

< 参加者 > 間野吉幸、相良直己、中野久夫、中根忠、桑森亮、大隅政孝、田中恒雄、大久保陸夫、吉田隆行、小玉文夫、北崎正典、石井俊子、石渡成紀 (幹事) 野口隆也、船津登 計 15 名

新入会員オリエンテーション

6月21日

本年度の当会新入会員オリエンテーションが3名の新入会員を含む13名の会員が参加し、下記の如く開催されました。

開催日時 6月21日(日) 10:00-12:00

会場 我孫子市生涯学習センター
「アビスタ」第3学習室

議事次第

プレリユード 世界の美しい鳥 映像
放映

1: 歓迎の挨拶 間野会長
当会運営体制(組織、役員、事務局)紹介

2: 当会の紹介 オリエンテーション担当
幹事 相良

当会の他では得られない特徴/楽しみ
当会の名人たち

当会の年間活動

これまでの探鳥地と出会った鳥たち
こんな時のコンタクト先

3: 先達に聴く 探鳥の楽しみとヒント

オリエンテーション担当幹事 金子(雅)
探鳥を楽しむための心構えと準備
(探鳥会参加の準備、ルール、マナーなど)
鳥を素早く見つけるヒント(鳥の見つけ方、見分け方のヒント)
探鳥の楽しみ方(探鳥、探鳥会参加の楽しみ方)

4:今後の活動予定と案内 野口副会長

5:質疑応答&懇談 司会 桑森事務局長

<参加者>

新入会員 太田早苗、津村勝吉、渡辺公子
事務局/役員/会員 鈴木裕爾、青木典子、金子幸子、松本勝英、間野吉幸、野口隆也、桑森亮、金子雅幸、野口紀子 (担当幹事)
相良直己 計 13 名

3: 当会配信メールの活用
配信メールの仕組みと特徴
メーリングリストへの登録と登録時の考慮点
配信メール利用時に起き得る問題と考慮点
配信メール送信/返信時の考慮点
4: 当会役員、事務局へのメールを使つての連絡
5: その他 質疑応答

<参加者> 渡辺公子、竹内英子、松本勝英、石井俊子、古出洋子、金子幸子、野口隆也、間野吉幸、桑森亮、小玉文夫 (担当幹事)
相良直己 計 11 名

HP/ML 講習会

7月5日

当会初の企画である「ホームページ/配信メール講習会」が下記の如く、開催されました。

この催しは、昨年実施されました会員アンケートにおいて、大変多くの会員から開催要望が寄せられた催しです。

探鳥会に恵まれない梅雨の時期の開催でもあり、11名の会員が参加、担当幹事の相良を講師にインターネットやメールの仕組みを学習し、各自持参のパソコンを用いてインターネットに接続して様々な実習も行いました。

記

開催日時 7月5日(日) 12:30-15:00

会場 我孫子市生涯学習センター

「アビスタ」第5学習室

議事次第

- 1: インターネットを活用する
探鳥/愛鳥活動におけるインターネットの活用
- 2: 当会ホームページの効果的活用
当会ホームページの特徴と様々な活用法
当会ホームページへの投稿方法と考慮点

映 写 会

7月26日

本年度の映写会が、7月26日に我孫子市民プラザ第一会議室にて、多くの会員の皆さんの参加を得て成功裏に開催されました。今年度も、昨年同様 15名の発表者に写真、動画の力作をご披露いただきました。当日は、開催準備の間、世界の美しい鳥の動画が放映され、その美しさに感動すると共に、この後、発表される会員の傑作への期待が高まりました。

定刻の9:30を少し遅れ、担当幹事の石渡さんの司会進行の下、間野会長の開会挨拶の後、会員の力作・傑作の数々が順を追って発表されました。昨年より1時間多く発表時間が確保できたため、各発表者から撮影時の秘話や解説も加えることができ、素晴らしい感動的な作品の数々に時間も忘れ、堪能することができました。

定刻の12:45に古出副会長の挨拶で閉会し、感動の余韻に浸りながら、懇親会の会場へと移動しました。

発表者と発表タイトルは下記の通りです。

<発表者と発表タイトル>

- 1: 田中功 (写真 52 枚) [台湾、奄美、トカラ列島平島、立山室堂で、出会えた鳥たち]
- 2: 池田日出男 (写真 40 枚) [石垣島、与那国島、舩倉島の野鳥]

- 3 : 野口隆也 (写真 40 枚) [今年、出逢った鳥]
 - 4 : 桑森亮 (写真 35 枚) [思い出の鳥たち (初見、初撮を中心に)]
 - 5 : 大久保陸夫 (写真 40 枚) [今年出会った鳥さんを懐かしんで]
 - 6 : 中西榮子 (写真 40 枚) [田んぼの思い出]
 - 7 : 百瀬喬 (動画) [・栃木県民の森・宮川渓谷で青空に向かって囀るオオルリ
・北新田の畦道の柵に留まって囀るヒバリ
・両親から採餌を受けるカイツブリのヒナたち
・手賀上沼の南岸の水路で採餌中のコブハクチョウのファミリー]
 - 8 : 吉田隆行 (写真 40 枚) [今年 (2015) 会った鳥、虫など]
 - 9 : 古賀嗣朗 (写真 40 枚) [ペルー観光ツアーで撮った鳥]
 - 10 : 仲澤成二 (写真 40 枚) [「思い出 2015」台湾探鳥会]
 - 11 : 浅野利幸 (写真 40 枚) [思い出の鳥たち]
 - 12 : 渡邊俊文 (写真 40 枚) [野鳥の親子]
 - 13 : 丸嶋紀夫 (写真 40 枚) [三番瀬の水鳥]
 - 14 : 清水直樹 (写真 40 枚) [埼玉県における絶滅危惧種について & 出会った鳥たち]
 - 15 : 松田幸保 (動画) [ホシガラスが面白い]
- なお、動画を除く発表作品は、当会ホームページ” 映写会写真集 ” に掲載されます。
- 当日、ご参加いただけなかった皆さんは、ホームページ上でお楽しみください。
- <参加者> 青木典子、浅野利幸、天野睦子、池田日出男、大久保陸夫、小澤淳宏、金子幸子、金子雅幸、桑森亮、古出洋子、古賀嗣朗、小玉文夫、小林寿美子、小山雄司、佐藤弘美、清水直樹、染谷迪夫、田中功、仲澤成二、中西榮子、西嶋昭生、野口隆也、野口紀子、弘實和昭、船津登、松田幸保、間野吉幸、丸嶋紀夫、百瀬喬、吉田隆行、類地佑子、渡邊浩次、渡邊俊文、渡辺公子 (担当幹事) 石渡成紀、相良直己 計 36 名

第 3 回「ランチ懇親会」が、映写会会場からほど近いイタリアレストラン《ピストロ・ヴァン・ダンジュ》で行われました。

映写会担当者のお計らいで、遅れることなく開始することが出来ました。

参加者は定例探鳥会でお見かけする方、遠出探鳥会でしかお会い出来ない方、初めての方など、女性 14 名・男性 22 名 総勢 36 名でした。県外からの参加者もあり、本当に有難いことでした。(参加者内訳人数は昨年と全く同数で、驚きました。)

4人1チームとして鳥カードにより席順を決定し、昼食後チーム対抗の「鳥名しりとり」を企画し、ランク付けの景品を用意しましたが、鳥カードの枚数を間違えてしまった為、当初混乱して開会挨拶も間野会長に代行して頂く始末でした。

それでも皆さん食事の合間に、同一テーブルの方達と話に花が咲いていた様で安心しました。

参加者の皆さん、「しりとりゲーム」は如何でしたでしょうか？ 端の方まで声が行き届かなかったきらいはありましたが、鳥しりとりの為「〇〇ドリ」等、直ぐに「リ」に行きついてしまうのですが、「ラ行」の鳥は比較的少ないので、皆さん必死になっていたように思いました。

また、今年は別払いの飲み物代の支払いを各チーム毎にお願いしましたが、快くご協力頂けこれも幹事の一手間が省けて良かったように思います。

<参加者> 染谷迪夫、浅野利幸、鈴木裕爾、鈴木幸子、天野睦子、吉田隆行、中西榮子、小澤淳宏、村上稔、大久保陸夫、池田日出男、松田幸保、類地佑子、松本葉子、間野吉幸、相良直己、石渡成紀、船津登、渡辺公子、百瀬喬、佐藤弘美、石井俊子、野口隆也、西嶋昭生、仲澤成二、桑森亮、渡邊俊文、青木典子、野口洋子、田中功、金子雅幸、古賀嗣朗 (担当) 野口紀子、小林寿美子、金子幸子、古出洋子 計 36 名

第13回 野鳥サロン

7月16日

日時 7月16日(木) 10:00~11:30
場所 我孫子北近隣センター並木本館
1階ホール

テーマ 1.「昔、人々は鳥や自然とどう
関わってきたのでしょうか。
昔話から、その暮らしづくりをの
ぞいてみましょう。」
2.「蕪栗沼のビデオ」

野鳥サロンには、台風11号が四国に近づき、その影響による雨の中20名が集まりました。

テーマ1.「鳥を中心とした昔話」を語り部の関口小夜子さんが、あたかも囲炉裏を囲んで、ばあちゃんが、方言を混ぜたゆっくりとした口調で話されました。

鳥の鳴き声をもとにした「とんびとからす」から語り始め、話が終わると、皆から拍手が起きました。「昔の人は、鳥の鳴き声をこんなふうに聞いていたそうです」を紹介しました。例えば、ホオジロは、イッピツケイジョウツカマツリソコ(一筆啓上仕り候)など。「鶯の谷渡り」の艶話を含め5つの昔話を語ってくれました。語り終わると拍手と共にアンコールの声が上がりました。アンコールとして、つばめの鳴き声にまつわる話をされ、笑い声と拍手で関口さんの昔話が、50分余りで終わりました。

参加者からは、関口さんが全ての話を諳んじていることに、驚きの声、また、おもしろかったとの声が上がっていました。

テーマ2.松田幸保さんが撮影した「蕪栗沼のビデオ」が映されました。

夕暮れ時、沼に舞い降りるガン(マガン)の群が次から次へと画面いっぱいに映しだされました。よく見ると、ガンが、きりもみしながら落ちる姿が映しだされていました。

朝方、沼から一斉に湧き立つように飛び立つガンの姿は、迫力満点でした。

ビデオの後、歌川広重の浮世絵に描かれた「堅田の落雁」、雁に関連する用語が紹介されました。

今回の野鳥サロンは、話を聞く、映像を見るだけでしたが、興味ある内容でした。

<参加者> 間野吉幸、野口隆也、桑森亮、古出洋子、小澤淳宏、金子幸子、川越久枝、大久保陸夫、千葉洋、田中功、小林博之、橋本了次、小野史子、竹内栄子、石渡成紀、古高利男、(担当)関口小夜子、畠中暁美、松田幸保、船津登 計20名

ホタルの夕べ

8月2日

期 日 8月2日(日)
曇り 30.5 湿度 やや高
集 合 東我孫子駅前 午後7時
(観察期間午後7時20分~8時20分)
観察場所 我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージアム(主にホタル・アカガエルの里付近)

今回、認められたヘイケボタルの数142頭、去年の188頭から2割強減少しましたがこれは想定内。自然界では年年のバラツキは2割くらいは、普通と考えています。餌の問題や環境条件の変化など考えられるからです。

当日は、やや蒸して、空には十七夜の月がかり、曇って薄明りでしたが、微風があり、ホタルの観賞にまあまあの日でした。これで7年続けて3桁のホタルが観察されましたが、これは、谷津の保全、整備をされているボランティアの方々が、維持・管理を続けてくれているたまもの、と感謝しています。田んぼの青々とした稲の上、斜面林の木立の間、草むらのかげ、湿地、ヨシ原をゆっくりと舞い、点滅する幻想的な青い光は、子どもから大人まで、癒しと楽しいひと時を与えてくれます。その上、今回は手のひらに載ってくれて、実際のホタルの大きさも確認できて本当に良かった! 何時までもこの光景が続くように祈りたい。

なお、この行事は、当会と我孫子市鳥の博物館友の会の共催で行われました。

<参加者> 矢野達志、北村章子、上野拓、坂本明、坂本千加子、原田高子、長妻輝夫、千葉洋、桑森亮、高橋知恵子、野口一紀、鈴木蒼梨、松田幸保、松田伸華、海上知恵美(担当)染谷迪夫、木村稔 計17名

事務局： 総合調整、各グループの活動支援	桑森、金子雅幸、 北崎
-------------------------	----------------

7月役員会報告

日時 7月12日(日) 12:30～15:30

場所 水の館 3階研修室

1. JBF2015 出展について

事務局の提案に基づき検討し、出展内容及び担当幹事等を下表の通り決定しました。

JBF2015 は昨年同様「親水広場」を中心に10/31(土)、11/12(日)に開催されます。出展内容についてはは行事案内をご覧ください。

なお、今年のJBFは国際交流として海外から数か国の展示が行われ、当会としてもこれに協力し、会員スタッフが台湾やモンゴル等を支援、対応する予定です。

<出展グループと担当幹事>

出展グループ	担当幹事(下線はリーダー)
ブース1:「身近な鳥たち、珍しい鳥たち」 パネル展示 & プロジェクター映写	相良、金子雅幸、北崎、佐々木、千葉
ブース2:「塗り絵 & パタパタ工作」 塗り絵、工作の体験、指導	野口紀子、古出、類地、金子幸子、青木
ブース3:「庭に鳥を呼ぶ」 野鳥の好む草木の実や餌の実物展示	鈴木、染谷、小林寿美子
湖畔バードウォッチング: 望遠鏡による野鳥の観察体験	船津、六角、小澤、村井
船上バードウォッチング: 遊覧船からの探鳥(1日3便運航)	松本、田中功、石渡、野倉、石井

2. あびこ市民活動メッセ出展について
「第2回あびこ市民活動メッセ」が以下の通り開催され、当会からも昨年に引き続き参加・出展すること、並びに当日の対応スタッフを決定しました。

出展等の内容は、

スライドショーによる当会の活動紹介

「手賀沼周辺の野鳥」スライドショーと鳥の名前当てクイズによる野鳥観察の疑似体験及び当会の活動紹介の予定です。

皆さん、是非お立ち寄り下さい。

開催日時

9月26日(土) 13:00～17:30

9月27日(日) 10:00～15:00

開催場所 けやきプラザ 2Fホール他

3. 27年度第1四半期会計報告について
第1四半期の会計報告を異議なく了承。
4. 会報246号掲載予定記事について
会報246号の掲載記事について、資料に基づき検討し、決定。
5. 第14回「野鳥サロン」について
9月に実施すべく検討中で、詳細が決まり次第、周知されます。
6. 台湾探鳥会の日程変更について
前回役員会で決定した下期行事計画のうち、台湾探鳥会の日程を2016年1月11日(月)～16日(土)に変更すること、並びに探鳥コース、募集時期等を決定しました。
7. 報告事項、その他
新入会員オリエンテーション(6/21開催)
ホームページ/配信メール講習会(7/5開催)
美手連等の対外対状況
事務局業務の担当者一覧
「手賀沼周辺の鳥たち」検討タスクチームの活動状況
その他

以上

輪島市で本州に3羽しかいない放鳥トキに会えました、ラッキー！

鈴木静治

トキの観察

5/20 輪島港から 50km 沖の日本海に浮かぶ舳倉島へ池田さん、津村さん、石塚さんと 5/20~5/24 鳥見に行きましたが、その帰り輪島市で 5/24~5/25 に水田で採食するトキに会うことが出来るという幸運に恵まれましたのでその話を書いてみました。5/19 能登空港から輪島へのタクシーの中、ホテル、市民の方よりトキがいるとの情報を得、トキがいたという輪島川から輪島港まで歩きましたが、中州にウミネコ、上空の真上を飛ばミサゴ、またツバメ、イワツバメが、さらにアオサギの繁殖の森、港ではトビ、ウミネコ、ハシブトガラスの群れが見えただけで、その日はトキに会えませんでした。夕食の食堂を探しながら歩く途中、民家の人に聞くと川より小学校の裏の水田に来ていることが判りました。しかしその日は日没後のため、翌朝は舳倉島行きのため、それ以上のことはできませんでした。そこで、舳倉島から輪島へ帰ってきても、まだトキが居るようなら、見に行こうということになりました。海が荒れて予定より一日遅れて 5/24 輪島港に到着し、港から宿までのタクシーの中で、また宿でトキの居る場所を詳しく教えて貰い、通常日没まで水田にいるとのことなので、夕食までトキを探しに行くことにしました。途中道が判りにくいところでは、その近くの自宅に帰る女高生に案内して貰ったりして無事トキのいる水田に着きました。トキのいる水田は一方が斜面林、近くには川が流れ、住宅地あり他方にも斜面林がある場所でした。水田は配管パイプではなく昔ながらの配水溝から水を取り入れる田で、無農薬の田とのようでした。私は野生のトキは見たことがなく、遠くから見た時、すぐに飛んでしまうのではないかと考えていたので、すぐに写真を撮ろうとしました。舳倉島で一緒であった人もいて、もっと近くまで来て写した方がいいよと言われ、我々は水田のトキに近づきました。トキは1羽で、頭の冠羽、頸、上面と翼の前半や胸などが黒灰色で、体は淡桃色をおびた白色。額、眼先、眼の周囲、喉は赤い皮膚が裸出で、下に湾曲した嘴は黒く、先端が赤色でした。また脚も赤色でした。我孫子市鳥の博物館に展示されているトキの剥製は黒灰色ではなく白いトキを見慣れていたので初め本当にトキなのかと戸惑いました。後で調べて判ったことですが、春から夏の繁殖期には黒灰色になります。これは春先に頸側から分泌する黒色の物質を水浴直後に直接こすりつけることにより生じる羽色で、換羽または羽縁が擦り切れることによらない珍しい羽色変化とのことです。今日は日曜日の夕刻のため、我々のような観光客、カメラマン、近所を散歩する人、親に連れられて真剣に見る子供等数十人がトキを見ていました。地元の話ではトキは1ヵ月位ここに来て採食しているとのことでした。トキは稲が植えてある水田の中でなく、ほとんど田の畦に沿って嘴を畦と田の境あたりに突っ込みながら歩いていました。本にはザリガニ、カエル、タニシ、ドジョウ等を食べて書いてありますが、ここではミミズ等を採食しているようでした。また、このトキは畦の向こうから我々が見ているすぐ近くの道路脇まで近づいて来るではありませんか。まったく人を恐れていないようです。観察しているうちに夕暮れになり、日没となりました。日没後の薄あかりになったので、そろそろ飛び立つかなと思っていますが、畦の上にとまり、ソワソワしているが、なかなか飛ばない。それから20分位経った頃急に飛び立ち、川の近くの電柱にとまりました。飛ぶと橙色がかかった桃色で朱鷺色といわれる美しい風切と尾羽が見えます。また羽の裏側の方が濃く美しい。一瞬のことで写真が撮りにくい。その後、トキは川沿いに飛びおそらく港近くのアオサギ等が繁殖している森の畔に帰ったのでしょう。宿で夜明けより田に来ているようだという話を聞き、翌朝5時朝食前に散歩がてら、トキが来ているかどうか見に行くこ

とにしました。現地に到着するとトキは既に来ていて採食中でした。朝陽の中トキを観察しました。7 時頃まで見てみると十分餌を食べたのか飛んで川の近くの電線にとまりました。その後トキはまた田に帰り採食し始めました。野生のトキを 2 日にわたって十分観察した後、トキ君、観察させてくれて有難う、とトキに別れを告げ、我々も朝食を食べるため宿に帰りました。

トキの身元調査

トキは特別天然記念物に指定されており、放鳥される時には足環、カラーリングの番号が付けられ個体識別できるようになっています。ライチョウ、シギチ、カワウ、カモ等でも足環、カラーリングが付いていたことを思い出し、トキの脚をよくよく見てみました。左脚に緑色の地に白色で 04 の印字されたカラーリングをつけているではありませんか。さらにトキが我々の近くに来た時右脚をみると黄色の足環をつけていることが判りました。しかし、足環の番号が見えない向きになって読めません。暫く待っていると、トキが回れ右をし、後ろ向きになった時「・・A06・・」の文字が見えました。カラーリングの番号と足環 9 文字中連続 3 文字が判れば個体識別できると考え、そこでトキの足元の写真撮影をやめました。我孫子に帰ってから、足環付きの写真を山階鳥類研究所保全研究室鳥類識別センターに送ったところ、このトキは 2008/9/19 佐渡市のトキ保護センターで放鳥されたメス 04(12A-06804)であることが判りました。トキ保護センターには 6/12 頃、山階鳥類研究所より連絡して頂きました。トキ保護センター 6/21 のホームページ(HP)「放鳥トキ情報 6/11-6/17 中の確認した個体」中に 04 のカラーリング個体は記載されていませんが、6/28 の HP「放鳥トキ情報」には 04 のカラーリング個体が記載されていました。さらにこの個体のことを HP で調べてみますと、色々なことが判りました。2005 年に生まれ 2007 年頃野生復帰センターで順化訓練を受け、2008/9/19 第 1 回目に放鳥されました。放鳥当時は GPS 発信器を付けていたようですが、アンテナが脱落し、またこの GPS は電池寿命が 60-200 日であるため行方不明になっていたようです。不思議なのは当地に 1 ヶ月も滞在し、地元の人もこのことが広く知られていたにもかかわらず、佐渡のトキ保護センターに連絡がいかなかったことです。

トキの生存数、寿命

もともとトキはウスリー地方、中国、朝鮮半島、日本に分布していたようです。6/21 の HP によれば、日本で野生下の生存個体 161 羽は佐渡島 159 羽、本州 2 羽となっています。今回の 04 個体も入れれば本州に 3 羽いることになります。現在までに 12 回 196 羽放鳥されていますが、生存確認されたのは 116 羽とのこと。本州の輪島市でたまたま見られたのはなんと幸運なことでしょう。絶滅寸前 1970 年に能登半島で 1 羽、1981 年に佐渡で 5 羽のトキが捕獲されてトキ保護センターに収容されたのを最後に日本には野生のトキはいなくなり、2003 年に日本産最後のトキがなくなりました。今回能登半島の輪島でトキを見ることが出来たのは能登半島が佐渡島から約 150km と比較的近く、トキが生息しやすい環境があるからかなと思いました。しかし、佐渡には多くいますが、本州には 3 羽しかいないので本州にいる限り、仲間と会うことは残念ながら無いでしょう。今回みた 04 のトキは 10 歳になりますが、トキの寿命はどの位かなと調べてみると、平均寿命 13 歳、最高寿命(飼育個体)で 36 歳と記載されているインターネットの記載が見つかりました。また能登半島の輪島市で来年もトキに会えるといいなと思っています。なお、野田市では 7 月 23 日特別天然記念物コウノトリを 3 羽放鳥しました。GPS で 3 年間追跡調査するようです。柏・我孫子へも飛来するかもしれません。楽しみです。

引用文献：世界鳥名辞典、344 頁 トキ、吉井正監修、三省堂、2005 年

鳥 だ よ り

今号での初認鳥は、最近ネットで「ミョウガ」そっくりと話題になっている「ヨシゴイ」が6/6(日)に観察されました。例年は5月の下旬(昨年は5/24)に観察されていますが、最近では一番遅い初認日でした。千葉県で最重要保護生物(A)に指定されている[コサメビタキ]が6/22 手賀の丘公園で観察されました。過去(2012-2013)9-10月にしか観察されていません(千葉県全体でも同傾向)ので、目新しい観察記録です。同じく、千葉県の最重要保護生物指定の「ヒクイナ」が、6/29・7/1に手賀沼遊歩道で観察されました。過去2011/1月、2014/2・5月に観察例がありますが、稀な記録です。尚、「ムナグロ」が先号の5/22の観察が終認の記録となりました。

- 5.20 [都部] チョウゲンボウ(1) 上空を飛翔
平岡考
- 5.21 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.22 [柏] チョウゲンボウ(3) 換気口内から2羽のチョウゲンボウ(幼鳥)が顔を出して外の様子を伺い、近くの壁面で親鳥(雄)が周囲を警戒していた 北崎正典
- 5.22 [片山(手賀の丘公園)] サシバ(1) 林から飛び立つ 船津登
- 5.22 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) 船津登
- 5.22 [片山(手賀の丘公園)] ホトトギス(1) 上空で鳴く 船津登
- 5.22 [片山(手賀の丘公園)] ヒメドリ(1) 飛んできて木に止まる 船津登
- 5.22 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 5.23 [北新田] ホトトギス(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.23 [北新田] カッコウ(2) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.24 [北新田] カッコウ(2) 河川敷上を飛翔
中野久夫
- 5.24 [南部地区] ヂメ(1) 9:32、巣の中で雌が抱卵中 飯泉仁
- 5.24 [南部地区] ヂメ(1) 10:28、雄が抱卵を交代 飯泉仁
- 5.24 [南部地区] ホトトギス(1) 11:10、北西方向から鳴き声 飯泉仁
- 5.24 [南部地区] ヂメ(1) 16:29、雌が枝から巣に帰還 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.25 [柏] チョウゲンボウ(2) ホテル頂部に幼鳥1羽がとまり、目の前を親鳥1羽が旋回していた 北崎正典
- 5.26 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 5.26 [千間橋] ハヤブサ(1) 鉄塔上にとまる
鈴木静治
- 5.26 [布佐平和台] ヒメドリ(2) 鳴きながら上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 5.27 [柏] チョウゲンボウ(1) 13:00、商業ビル上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.27 [高野山] ホトトギス(1) 鳴き声 平岡考
- 5.27 [南部地区] ヂメ(1) 10:20、雌個体が巣の中で腰をあげて背伸び 飯泉仁
- 5.28 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 5.28 [高野山下] ホトトギス(1) 1羽の鳴き声を確認 野倉元雄
- 5.29 [柏] チョウゲンボウ(2) 建物頂部から2羽が同時に飛び出し、途中で別れ、別々の方向に飛び去った。 北崎正典
- 5.29 [片山] サシバ(1) 電柱に止まる
船津登
- 5.29 [片山(手賀の丘公園)] ヒメドリ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 5.29 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登
- 5.29 [片山(手賀の丘公園)] ヒメドリ(1) 林の中でさえずる 船津登
- 5.29 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 5.30 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 5.31 [南部地区] ヂメ(1) 9:20、雌個体が巣の中で座り込んでいた。但し、何度も体の向きを変えており卵が孵化した可能性あり 飯泉仁
- 6.01 [柏] チョウゲンボウ(3) 7:10~7:55、成鳥1、若鳥2羽が高層ビルの周辺を飛翔、時折親鳥が餌を運搬 飯泉仁

- 6.01 [南部地区] ツミ(1) 14:45、雌が巣で座り込む。時折腰を上げ気味にしていた。雛が腹部に存在しているものと思われる
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.01 [南部地区] ツミ(1) 15:43、雄個体が足に獲物をぶら下げて出現
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.02 [北新田] ヒ(1) 電柱上 中野久夫
- 6.04 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 6.04 [鷺野谷] ヲウゴン(1) カスに威嚇される
鈴木静治
- 6.04 [岡発戸新田] ノスリ(1) 上空高く飛ぶ
鈴木静治・船津登・間野吉幸
・池田日出夫・金子雅幸
- 6.04 [岡発戸新田] ヒ(1) 沼の上空高く飛ぶ
鈴木静治・船津登・間野吉幸
・池田日出夫・金子雅幸
- 6.05 [柏] ヲウゴン(2) 建物上空を2羽が飛び回っていた
北崎正典
- 6.05 [片山] サシバ(1) 電柱に止まる
船津登
- 6.05 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ
船津登
- 6.05 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) さえずる
船津登
- 6.05 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 林の中でさえずる
船津登
- 6.05 [鷺野谷] サシバ(1) 電柱に止まる
船津登
- 6.06 [柏] ヲウゴン(1) 15:35、高層ビル上空を飛翔
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.06 [片山] サシバ(1) 14:15、電柱の天辺に餌を捕獲後飛来。後頭が白い個体
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.06 [片山] ヒ(2) 14:34、東側の人家と隣接している林の中から囀り
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.06 [手賀沼近辺上空] ヒ(2) 上沼1, 下沼1
桑森亮・船津登・古出洋子・金子雅幸
- 6.06 [手賀沼近辺上空] サシバ(1) 上沼1
桑森亮・船津登・古出洋子・金子雅幸
- 6.06 [中峠] ヒ(2) 木の茂みで囀る
鈴木静治
- 6.06 [中峠] ヲウゴン(2) 葦の茂みで囀る
鈴木静治
- 6.06 [南部地区] ヒ(1) 10:36、北北東方向から鳴き声
飯泉仁
- 6.06 [布瀬] ヲウゴン(1) 13:05、下手賀川の水面を飛翔し葦原の中に入る
飯泉仁・飯泉久美子
- 6.07 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 6.07 [寿] ヒ(1) 1羽の鳴き声を確認
野倉元雄
- 6.07 [南部地区] ツミ(1) 10:02、足に小鳥をぶら下げて出現
飯泉仁
- 6.07 [南部地区] ツミ(1) 10:02、雌が巣から枝に移動
飯泉仁
- 6.07 [南部地区] ツミ(1) 10:39、雌が巣の中に帰還
飯泉仁
- 6.08 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 6.08 [北新田] ノスリ(1) 電柱上 中野久夫
- 6.08 [手賀沼] ミサコ(1) 沼の杭にて静止
野倉元雄
- 6.08 [手賀沼] ヒ(1) 沼の上空を啼きながら飛翔
野倉元雄
- 6.10 [片山] サシバ(1) 電柱に止まる
船津登
- 6.10 [片山] ヤマガラ(1) 上空を飛ぶ
船津登
- 6.10 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3)
船津登
- 6.10 [北新田] ヲウゴン(1) 電柱から飛去
中野久夫
- 6.10 [北新田] ヒ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 6.10 [久寺家] ヒ(1) 斜面林で鳴き声
中野久夫
- 6.10 [高野山] ヒ(1) 鳴き声 平岡考
- 6.10 [寿] ヒ(1) 1羽の鳴き声を確認
野倉元雄
- 6.10 [布瀬] ヒ(2) 森より鳴き声
鈴木静治
- 6.10 [千間橋] ヲウゴン(1) 川の中州から鳴き声
鈴木静治
- 6.11 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 6.11 [手賀新田] ヲウゴン(1) 飛んで来て中州の叢に入る
鈴木静治
- 6.12 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 6.12 [北新田] ノスリ(1) 鳴きながら飛翔

- 中野久夫
6.12 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 森の方から
鳴き声 鈴木静治
- 6.12 [布瀬新田] チョウケ`ンホ`ウ(1) 水田上で
ホバリング後急降下 鈴木静治
- 6.13 [相島] カッコウ(1) 森より鳴き声
鈴木静治
- 6.13 [泉] 牝`舛(1) 森より鳴き声
鈴木静治
- 6.13 [泉] ヤマガ`ラ(1) 木の枝にとまる
鈴木静治
- 6.13 [南部地区] ツミ(1) 9:01~9:11、雌が巣
の端で餌を食べていた 飯泉仁
- 6.13 [南部地区] ツミ(1) 9:12、雌が巣を離
れカガ`を追尾 飯泉仁
- 6.13 [南部地区] ツミ(1) 9:13、雌が巣に帰
還 飯泉仁
- 6.13 [南部地区] ツミ(1) 10:23、雌が雛に給
餌 飯泉仁
- 6.13 [布瀬] ホトキ`ス(1) 森より鳴き声
鈴木静治
- 6.14 [南部地区] ツミ(1) 9:40、雌が枝に止
まり周囲を警戒 飯泉仁
- 6.14 [若白毛] サバ` (1) 10:25、足にかハ`
をぶら下げて飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.14 [鷺野谷] サバ` (1) 12:40、杉林の上に
止まる 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.15 [柏] チョウケ`ンホ`ウ(2) 建物上空を 2 羽
が並んで飛んでいた 北崎正典
- 6.15 [片山(手賀の丘公園)] オカカ(1) 林の
中でキョキョと鳴く 船津登
- 6.15 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(2)
船津登
- 6.15 [片山(手賀の丘公園)] 牝`舛(1) 林の
中でさえずる 船津登
- 6.15 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 6.15 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 森より鳴き
声 鈴木静治
- 6.15 [北新田] ヨシ`イ(1) 休耕田で鳴き声
中野久夫
- 6.17 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 6.17 [中峠] カッコウ(1) 鳴き声 松本勝英
- 6.17 [中峠] ホトキ`ス(1) 鳴き声 松本勝英
- 6.17 [中峠] サバ` (1) 雄姿 松本勝英
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 9:00、成鳥雌が巣
の方向を向いて枝にとまり周囲を監視
飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 9:02、地面すれす
れに飛翔し小鳥を捕獲 飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 9:12、枝に飛来
飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(2) 9:02、雌雄が出現、
雄がス`メを雌に渡す 飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 9:13、雌が餌のス`
メを巣に運搬。巣の中に第二綿羽の雛 1 羽
を確認 飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 9:25~10:01、雌が
巣から離れた枝に出現し周囲を監視
飯泉仁
- 6.17 [南部地区] ツミ(1) 10:25、北北東方向
から鳴き声 飯泉仁
- 6.17 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 森より鳴き
声、朝夕 鈴木静治
- 6.18 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 森より鳴き
声 鈴木静治
- 6.19 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声
中野久夫
- 6.20 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 森より鳴き
声 鈴木静治
- 6.21 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 6.21 [南部地区] ツミ(3) 9:40、巣の中に雛 3
羽、うち 2 羽の第二綿羽の個体の一部が
幼羽に換羽 飯泉仁
- 6.21 [南部地区] ツミ(1) 10:02、北方向から
鳴き声 飯泉仁
- 6.21 [南部地区] ツミ(1) 10:11、雄個体が電
線に止まっていた 飯泉仁
- 6.21 [南部地区] ツミ(2) 10:35、成鳥雄が餌
を持参し出現、雌に餌を受け渡す
飯泉仁
- 6.21 [南部地区] ツミ(1) 10:35、成鳥雌が餌
を巣に運搬し、雛にちぎって与えていた
飯泉仁
- 6.21 [南部地区] ツミ(1) 10:57、成鳥雄が電
線に止まっていた 飯泉仁
- 6.21 [布佐平和台] ホトキ`ス(1) 鳴き声が森
より聞こえる 鈴木静治
- 6.22 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(1) 鳴き
声 船津登
- 6.22 [片山(手賀の丘公園)] 牝`舛(2) 林、
竹林の中でさえずる 船津登

- 6.22 [片山(手賀の丘公園)] コバ^レ 舛(1) 桜の木に止まる 船津登
- 6.22 [片山(手賀の丘公園)] 牝^レ 舛(1) 枝に止まりさえずる 船津登
- 6.22 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 6.22 [南部地区] ヴィ(1) 8:58、成鳥雌個体が足に捕獲した小鳥をぶら下げて出現し林から外に渡去 飯泉仁
- 6.22 [南部地区] ヴィ(2) 9:18、林の枝を幼鳥が移動 飯泉仁
- 6.22 [布佐平和台] ホトギ^ス(1) 鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 6.23 [北新田] カッコウ(2) 河川敷柳上 中野久夫
- 6.23 [布佐平和台] ホトギ^ス(1) 早朝鳴き声 鈴木静治
- 6.24 [布佐平和台] ホトギ^ス(1) 朝鳴き声 鈴木静治
- 6.25 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
- 6.25 [布佐平和台] ホトギ^ス(1) 森より鳴き声 鈴木静治
- 6.26 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
- 6.26 [布佐平和台] ホトギ^ス(1) 囀りが聞こえる 鈴木静治
- 6.27 [南部地区] ヴィ(2) 10:48、幼鳥が枝に止まっていた 飯泉仁
- 6.27 [南部地区] ヴィ(3) 11:28、若鳥3羽が枝に出現 飯泉仁
- 6.27 [南部地区] ヴィ(4) 11:45、成鳥がス^メを持参し幼鳥に受け渡す 飯泉仁
- 6.27 [南部地区] ヴィ(1) 11:45、成鳥雌が高圧線に止まり、幼鳥が餌をねだる時に出す鳴き声のような声を出してカ^スの注目を引いていた 飯泉仁
- 6.27 [布佐] ホトギ^ス(1) 森より囀り 鈴木静治
- 6.28 [南部地区] ヴィ(3) 7:50、成鳥雌1羽、幼鳥2羽が枝に出現 飯泉仁
- 6.28 [南部地区] ヴィ(2) 8:03、成鳥雄が餌を持参し出現し、雌に受け渡し 飯泉仁
- 6.28 [南部地区] ヴィ(3) 8:05、成鳥雌が獲物を巣に運搬し幼鳥にちぎって与えていた 飯泉仁
- 6.28 [南部地区] ヴィ(3) 8:14、幼鳥3羽とも巣を離れ、巣立ち 飯泉仁
- 6.29 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ^ラ(1) 船津登
- 6.29 [片山(手賀の丘公園)] 牝^レ 舛(1) 竹林の中でさえずる 船津登
- 6.29 [片山(手賀の丘公園)] コバ^レ 舛(1) 小枝に止まる 船津登
- 6.29 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒク^付(1) 葎原から鳴き声を聞く 桑森亮
- 6.29 [鷲野谷] サシ^ハ(1) 電柱に止まる 船津登
- 6.30 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 6.30 [古戸] コシ^キ(1) 葎原の小さい柳にとまり囀る 鈴木静治
- 7.01 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒク^付(1) 葎原から鳴き声を聞く 桑森亮
- 7.01 [南部地区] ヴィ(3) 9:00、枝に止まっていた 飯泉仁
- 7.02 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 7.02 [浅間前] 材^カ(1) 濃霧の中飛来し電柱にとまる 鈴木静治
- 7.05 [下沼田] ハブ^サ(1) 鉄塔の頂きで羽繕い 鈴木静治
- 7.05 [南部地区] ヴィ(3) 14:20、枝に並んでいた 飯泉仁
- 7.05 [発作] ホトギ^ス(1) 川岸の林で鳴く 鈴木静治
- 7.05 [布佐] ホトギ^ス(1) 森より鳴き声 鈴木静治
- 7.07 [下沼田] ヒ^レ(1) 農道の電柱にとまる 鈴木静治
- 7.08 [片山(手賀の丘公園)] ヒ^レ(1) 上空を鳴きながら飛ぶ 船津登
- 7.08 [片山(手賀の丘公園)] 材^カ(1) 枯木に止まる 船津登
- 7.08 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ^ラ(2) 船津登
- 7.08 [片山(手賀の丘公園)] 牝^レ 舛(3) 林の中でさえずる 船津登
- 7.08 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 7.08 [南部地区] ヴィ(1) 9:20、成鳥雌が高圧線に止まり、若鳥が餌をねだる時に出すような鳴き声を出していた 飯泉仁
- 7.08 [南部地区] ヴィ(1) 9:20、若鳥が親か

ら餌を受け取り、捕食 飯泉仁
 7.08 [南部地区] ヲヰ(4) 9:42、成鳥雌1羽、若鳥3羽が出現 飯泉仁
 7.08 [南部地区] ヲヰ(2) 10:23、成鳥雌と若鳥各1羽が枝から地面に降り立つ 飯泉仁
 7.08 [鷲野谷] サハ(1) 電柱に止まる 船津登
 7.09 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
 7.09 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
 7.10 [江蔵地] ホトキス(2) 葎原で鳴く 鈴木静治
 7.10 [北新田] ホトキス(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
 7.10 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
 7.10 [中峠] サハ(4) ヒナ2羽巢立ち 松本勝英
 7.10 [中峠] ホトキス(1) 鳴き声 松本勝英
 7.10 [布佐平和台] ホトキス(1) 近くで鳴き声 鈴木静治
 7.10 [布佐平和台] ヒ(1) 鳴き声が聞こえる 鈴木静治
 7.10 [古戸] コシキリ(1) 葎原に葎の先にとまり囀る 鈴木静治
 7.11 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
 7.11 [古戸] コシキリ(2) 葎、柳にとまり囀る 鈴木静治
 7.12 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
 7.12 [北新田] クサギ(1) 鳴きながら飛翔 中野久夫
 7.12 [南部地区] ヲヰ(3) 8:30、若鳥3羽が林の中を活発に移動 飯泉仁
 7.12 [南部地区] ヲヰ(4) 9:21、成鳥雌が足に獲物(ツメ)をぶらさげて出現し、幼鳥がその後を追尾 飯泉仁
 7.13 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登
 7.13 [片山(手賀の丘公園)] 牝(1) 林の中でさえずる 船津登
 7.14 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] トビ(1) 上空を飛翔 桑森亮
 7.14 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ホトキス(1) 森から声が聞こえる 桑森亮
 7.18 [南部地区] ヲヰ(2) 9:50、若鳥2羽が

林の中を移動 飯泉仁
 7.19 [南部地区] ヲヰ(1) 8:44、若鳥が林の中を鳴きながら移動 飯泉仁
 7.19 [南部地区] ヲヰ(1) 8:46、若鳥が巣に移動 飯泉仁
 7.20 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
 7.20 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上 中野久夫
 7.20 [北新田] コシキリ(1) 休耕畑で囀り 中野久夫
 7.20 [南部地区] ヲヰ(3) 9:13、若鳥3羽が林の中を移動 飯泉仁
 7.20 [南部地区] ヲヰ(3) 9:32、若鳥1羽が足に小鳥の餌をぶらさげて出現、それを他の若鳥が追尾 飯泉仁
 7.20 [南部地区] ヲヰ(3) 10:01、若鳥が林の中を飛び回る 飯泉仁

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アマサギ、ウグイス、エナガ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オナガ、カイツブリ、カッコウ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、キジ、キジバト、キビタキ、クサギ、コアジサシ、ゴイサギ、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、コチドリ、コブハクチョウ、コヨシキリ、サシバ、シジユウカラ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、チュウサギ、チョウゲンボウ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒバリ、ヒヨドリ、フクロウ、ホオジロ、ホシハジロ、ホトトギス、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ヨシゴイ 計57種

<番外種>

アヒル、カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	449
飯泉仁・飯泉久美子	83
北崎正典	13
桑森亮	19
桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功	15

桑森亮・船津登・古出洋子・金子雅幸	12
鈴木静治	241
鈴木静治・船津登・間野吉幸	
・池田日出夫・金子雅幸	14
鈴木静治・池田日出夫	1
田中功	5
中根 忠	1
中野久夫	51
野倉元雄	26
平岡考	4
船津登	102
松田幸保・夫人	2
松本勝英	8
総計	1046

(浅井久)

「会員外からの投稿」
 渡辺朝一さん（冬期の手賀沼におけるマガモ・カルガモ・コガモ個体数の経年変化と農業集約化の関係を書かれた方）から次の鳥情報を頂きました。
 ・2015年1月17日我孫子市浅間前水田でウズラが1羽畔際から飛び立つ。
 ・2015年2月15日我孫子市北新田水田でウズラが2羽畔から飛び立つ。」
 ＊編集担当註
 （ウズラは国レベルでは「準絶滅危惧種」で、千葉県レッドリストでは2000年以降、最重要保護生物に選定されています。）

【会員だより】(ab-yacho より)

【シジュウカラは、立つ鳥、跡を濁さず】

2015.06.16 松田幸保

我が家の巣箱のシジュウカラは、15・16日に巣立ちをしました。初日の18:00頃から3羽、翌日の16:00頃から3羽を妻が確認したそうです。時間帯が意外に遅いなという印象です。朝から気にしていたようですが、見落としの可能性もあるので6羽+でしょうか？ 今日巣箱を覗いてみましたが、きれいな巣材しか残っていませんでした。子供の頃に飼っていた十姉妹の巣は糞だらけだったので、雲泥の差がありますね！

【中峠にフクロウ再来！】

2015.06.17 松本勝英

今、このメールを「声」を聴きながら書いています。近くの林の方から、盛んに「ホッホホー」と鳴いています。確か3年振りの再来です。
 今夕5時半ごろ、近くの祠の森で巣立ちヒナ2羽に会いました。頭上7、8mの杉の木枝にいました。警戒か餌をねだる声か分かりませんが、数年前に「保護」した時の独特の声で気付きました。眼下の私を意識したのか、2羽共、間もなく飛び去りました。翼動と薄っすら灰色から巣立ちヒナと思います。そして今、その親と思われるフクロウの声に痺れています。

【遊歩道をわがもの顔なコブハクチョウ親子】

2015.06.20 桑森亮

6月に入り、手賀沼遊歩道を早朝ウォーキングしています。コブハクチョウの雛が大きくなり、カルガモ位になってきました。
 岡発戸新田の湖北集水路の河口近くの遊歩道では、コブハクチョウの親子6羽（雛は4羽）が早朝から頻繁に道路を占拠しています。道路の真ん中に陣取って、歩行者が通るとシューッと声を出して威嚇するので、私は2m位離れた草叢を歩くのですが、それでも噛みつくような仕草をします。アスファルトの歩道脇の草陰を雛の埒にするようです。夜はアスファルトの上が暖かいのかな、と思っています。

【中峠のサシバ、巣立ちました！】

2015.07.10 松本勝英

今朝、10時過ぎ、中峠のサシバが巣立ちました。

雨天続きで、鳴き声ばかりで気にしておりましたが、晴れ姿を目視できました。どうやら、ヒナは、2羽の様です。自宅から、直線距離 100m未満の林に、今春、営巢の気配はありました。ここ1カ月半、それらしい生態を目撃していましたが、極力広報を自粛していました。例えば、

カラスに対し、いつもと反対に追尾して、威嚇行動が見られた。

朝夕を中心に、見張り樹の占有が目立った。

営巢林の周囲の民家のTVアンテナや、電柱頂上にも止まって警戒していた。

樹間でのメスの鳴き声は「キス・ミー」で間隔が空いていたのに、ここ数日は絶え間なく餌をねだっている感じで「ギブ・ミー」に聞こえる。

やっと、今日は、北東から雄(?)が飛来し、待っていた3羽と次々に”マイホーム”方向に、消えてゆきました。でもそれから約1時間後には午後にかけて鳴き声は盛んでした。留守中の「見張り樹」では、コゲラがちゃっかりペアで採餌していました。少し遠くでしたが、ホトトギスの声も散発的に聞こえました。

梅雨の長雨後の晴れ間は、鳥たちも大忙しなのですね。

【赤く染まったコブハクチョウ】

2015.07.11 松田幸保

手賀沼探鳥会の下見をしていたところ、ヒドリ橋の西側で赤く染まったコブハクチョウが1羽いました。鉄分に染まった白鳥は時々見ますが、こんなに赤くありません。何に染まったのでしょうか！

2015.07.13 松田幸保

赤く染まったコブハクチョウは、昨日の手賀沼探鳥会時(2日後)にはきれいになって同じ場所にいました。何なんだったのでしょうか？ 報告まで。

会からのお知らせ

<新入会員> 6,7月の新入会員はありませんでした。

<ご寄附> 平岡考さんからご寄附を頂きました。厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No.246 (2015年9~10月号)

発行 2015年9月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台2-15-17 桑森亮 Tel:04 7182 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)